

～学校を楽しくするために～（始業式講話より）

今、立派に始業式に臨んでいるみなさんを見て、「2学期がこうして一緒に始められて嬉しい。」と心から思います。そして、40日ぶりに交わした朝の挨拶。多くの生徒が、しっかりと挨拶している姿が見られ、とても感心しました。2学期も挨拶あふれる蓮沼中学校にしていきたいと思います。

さて、夏休み期間、少しでも「思考力」と「判断力」を鍛えることはできましたか？鍛えた成果はすぐには出ませんが必ず出ます。楽しみにしつつ、今日から始まる2学期の中でも鍛えてください。

今日は、2学期の学校生活を送る上で、ひとつ、みなさんに理解してもらいたいことを話します。

それは、「学校は、楽しいところではありません。」ということです。「なんだよ、校長先生。スタートからテンション下げてるなよ。」と思った人もいるかもしれません。でも本当のことだから仕方がない。「学校は、楽しいところではないんです。」では、学校はどんなところか。それは、「学校は、みなさんが楽しくするところです。」もう一度、続けて言います。「学校は、楽しいところではありません。みなさんが、楽しくするところです。」

では、どうしたら楽しくなりますか？「できないことが、できるようになった。楽しい。」、「分からないことが分かるようになった。楽しい。」、「入らないシュートが入るようになった。楽しい。」、「打てないボールが打てるようになった。楽しい。」、「話したことのない人と話せるようになった。楽しい。」、「一人ではできないことが、仲間と一緒にならできた。楽しい。」などなど。どうでしょう？こう考えると学校は、「楽しくする材料」が宝の山のようにあると思いませんか？これが「学校はみなさんが楽しくするところ」と言った理由です。分かってもらえたと思います。

そして、これが大切なところですが、「楽しさ」は、みなさんの思い（考えること）と努力（頑張ること）、この二つがあって手に入れられるということです。反対に言えば、思いも無く努力もしないで感じた楽しさは、本当の楽しさではないということです。

このことが事実であることは、この夏、みなさん一度は目にしたはずです。そう、パリオリンピック、パラリンピックです。出場していた選手が、言い方は違っても、口々に「楽しい」と言っていないでしたか？そして、その「楽しみたい」という思いがどれだけ大きいか、「楽しむ」ための努力をどれだけしているのか、その姿から感じ取った人も多いはずです。

「楽しさは、思いと努力があって手に入れられる。」これはみなさんも同じです。そして私は、これにもう一つ言葉を足してほしい。それは、「最後まであきらめない。」ということです。

もう一度続けて言います。「本当の楽しさは、思いと努力があって、最後まであきらめないことで手に入れられる。」

さあ、今日から始まる2学期、みなさんがどれだけ「楽しくする材料」を見つけるか。そして、それをどれだけ「楽しさ」に変えることができるか。みなさんの「思い」と「努力」、「最後まであきらめない姿勢」を私はとても楽しみにしています。ぜひ先生たちと一緒に実現させて、楽しい学校を作りましょう。

みなさん一人一人の活躍、輝きを期待して、話を終わります。

保護者・地域の皆様、2学期も子どもたち一人一人に寄り添い、充実した教育活動となるよう、全教職員力を結集し進めてまいります。皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。